



第6号
令和2年
7月31日発行



自ら考え 学び続ける生徒
心豊かで 思いやりのある生徒
体を鍛え やり抜く生徒

「短い夏休み」・・・だからこそ やれること・やりやすいことがある

—貴方の【やる気スイッチ】を「ON」にして、短いことを利点にしよう—

石川 浩

およそ2ヶ月の臨時休業期間、それに続いた2週間の分散登校を経て、6月15日ようやく全ての深中生が揃って登校できるようになりました。分散登校は2日で1日分と数えると38日間（登校日）であった令和2年度の1学期が本日で終わり、明日から17日間の夏休みに入ります。現在生きている人々が誰も経験したことのない状況の中で、まさに試行錯誤しながら進んできた1学期でした。しかも新型コロナウイルス感染症は、依然として収束に向かっていとは言えない状況が続いています。

しかし今振り返ってみると、そうした中でもいろいろな成果があった1学期であったと感じています。例えば、新型コロナウイルス感染予防の手立てを講じた「新しい生活様式」の日常化が進んでいること。また、最上級生として味わえる多くの機会を失いながら逞しく成長する3年生の姿…。



運動部の3年生にとって、6月から始まるはずだった学校総合体育大会は、最終的な目標として位置付けられる重要なものです。それを突然失ってしまうことで、私は3年生が自暴自棄や無気力になってしまうのではないかと心配しました。大会がなくなったことを知った時の3年生の落胆ぶりは見ているのが辛いほどでした。しかし数日の期間で、後輩を育て自分たちの部活動への思いを引き継いでもらうことに新たな価値を見出し、自分たちの限られた活動の時間を後輩のために惜しみなく使うようになったのです。こうした最上級生としての役割を果たす価値に目を向けた3年生は、部活動だけでなく、朝読書や清掃、委員会活動などの日常の諸活動に対して、とても積極的に取り組み始めました。先日の大掃除においても、指示されて動くのではなく、自分たちで気づいて主体的に活動する姿を、後輩たちにも私たち教職員にもしっかりと見せてくれました。

6月の学校だよりで、ニュートンが「万有引力の法則」を発見したのは、ペストの大流行で通っていた大学が閉鎖・休校となっていた期間であったことを紹介しました。実は「万有引力の法則」だけでなく、ニュートンの重要な業績（「慣性の法則」「加速度の法則」「作用・反作用の法則」）は、全てこの期間になされているのです。3年生を初めとする深中生の急速な成長を目の当たりにし、私はこの事実にも納得しています。今年の夏休みは17日間しかありません。昨年の半分もありません。しかし、中身が充実するかどうかは期間の長さではないこと、逆に短いことがかえって充実させやすいといえることは、ニュートンや深中の3年生の実績からも分かります。大切なのは、“その状況をどう捉えるか [考え方]”と“やる気”です。貴方の【やる気スイッチ】を「ON」にして、明日からの『短い夏休み』に臨みましょう！※ちなみに、最新の研究では、私たちの感情は電気信号のようなものだそうです。目には見えないけれど、【やる気スイッチ】というのは本当にあるのかもしれない。

明日からの『短い夏休み』を、深中生の一人一人が充実させ、8月18日（火）の2学期始業式に、元気に、そして心身ともにまた一回り成長して登校してくれることを、心から楽しみにしています。

1学期を振り返って

新型コロナウイルス対応で、まだ全校が一堂に会するような集会ができません。そこで、今年の1学期終業式は、ZOOMを使って各教室を繋ぐ「リモート・終業式」としました。その中で、各学年の代表が、今学期を振り返るとともに、夏休みへの決意を語ってくれたので、その一部を紹介します。

岡安 優弥さん

1年1組



4月8日に僕たち149名の新1年生は、いつもとは少し違った状況の中で入学式を迎えました。しかし、楽しみにしていた中学校生活は、コロナウイルスの影響で、そのまま2ヶ月の休校期間に入ってしまった、何も分からないまま、自宅で課題に取り組む毎日でした。僕は、部活動に入ることを楽しみにしていたので、家でできるトレーニングを、みんなから遅れないために行っていました。

そして、待ちに待った中学校生活が、6月にやっと始まりました。同時に学年目標への取組も始まりました。目標は「あいさつ・返事・ありがとう 三つを極める1学年」です。はじめは、言われなくてもできず、注意されてばかりでしたが、今では少しずつ意識できており、目標に近づいています。

僕自身が1学期に頑張ったことは二つあります。一つ目はずっと楽しみにしていた部活動です。体力はもちろん、あいさつや礼儀など、自分を高めるのに大切だと思うからです。常にみんなの一步前を行く意識でやっていきたいです。二つ目は定期テストです。初めてのことで、どう勉強していいのかわからず、とにかく復習しました。時間の使い方もわからず、9教科をどのように学習すれば効率よいかを考えるのも大変でした。1学期の結果をもとに、これからの学習に生かしていきたいです。

明日から2週間の夏休みに入ります。この期間は、勉強と部活動の両立を、自分自身で考えて実行することが目標です。2学期は、言われなくても自分で考えて行動することを意識していきたいと思っています。そして、誰もが楽しく過ごせる理想のクラス・学年を創っていきたいです。



今年は3月・4月と、新型コロナウイルスにより休校となり、長期間にわたり一日中家で過ごす日々が続きました。4月8日に新しいクラスの発表はありましたが、休校及び分散登校中は、クラス全員に会うことができず寂しい思いをしました。また部活動が全くできず、3年生にとって最後の大会である学校総合体育大会が中止となる悲しい思いをしました。しかし、先生方がわざわざ一人一人の家まで課題を届け、私たちの生活状況や健康状態を確認に来てくださった時は、退屈な生活の中で、学校を思い出し、少しホッとすることができました。先生方ありがとうございました。

清水 美琴さん

2年1組



6月に入り、やっとクラス全員が集まり、学年目標や学級目標を決め、新たなスタートを切ることができました。私たちが楽しみにしていた文化発表会、体育祭、音楽会の三大大行事も、自然体験宿泊学習もなくなりましたが、その分私たちは、授業態度をしっかりする、正しい休み時間の使い方をするなど、小さなことから目標を立てて取り組んでいます。2年生になって私たちは先輩として、1年生のお手本となれるよう日々努力しています。部活動では、3年生最後大切な学校総合体育大会もなくなってしまい、先輩方はとても悔しい思いをされたことと思います。私たち2年生も、お世話になった3年生のために何もできなかったことがとても悔しく辛かったです。だから、3年生の悔しさを忘れることなく、私たちが3年生のやり遂げられなかった目標荷に向かって進んでいきたいです。また、1年生に分かりやすくアドバイスをし、尊敬される先輩になれるようしっかりと活動していきたいです。

明日から夏休みが始まります。規則正しい生活をして、新型コロナウイルスに感染しないようにしましょう。そして、2学期の始業式には、全員が元気に登校したいと思います。



私たち3年生にとっての1学期は、大きな不安の中で始まりました。長かった臨時休業がようやく終わり、2週間の分散登校を経て、6月16日、やっとクラスが一つになれました。休業中は最高学年になるという意気込みの中にも、新しいクラス、学習の遅れ、部活動が再開できるかなど、多くの不安がありました。しかしポストイン訪問が始まり、たくさんの課題の中の学級通信に、一人一人の笑顔とメッセージを見つけ、早く学校に行きたい、みんなと会って話したいという気持ちが膨らみました。先生方も私たちの学習が遅れないようにと、分かりやすく具体的にアドバイスをしてくださいました。私も、授業動画を活用し、苦手な数学を中心に学習することができました。

澁谷 香凜さん

3年1組



通常登校になってからは、最高学年、受験生としての目標を掲げて生活を送りました。班編制は、分散登校で別れた友達と一緒にいるように工夫し、学習の遅れが出ないよう学習リーダーを配置しました。学年委員会では、多くの行事の中止を踏まえて学年行事を開催しました。クラスの結束を強め、思い出に残る大会になりました。またハローキャンペーンと題して、挨拶の質の向上を目指した取組も行いました。最高学年として、1・2年生の手本となれるよう一人一人が意識して生活できました。

私たちに3年間のまとめとなるはずだった三大大行事や修学旅行、学校総合体育大会やコンクールが次々に中止となりました。特に部活動で、今まで練習してきた成果を示す舞台を失ったことは、本当に残念で悔しいです。1・2年生には、私たちの分まで部活動をやり切してほしいです。今まで目標としてきたものを失い、辛く悲しい気持ちでいっぱいですが、今の私たちに、この気持ちに区切りをつけ、受験生として大切なことを見極める必要があります。短かった1学期は、自分と向き合い、これからは見通す貴重な時間となりました。私たち一人一人は、この期間に自立する力を鍛え、自分の将来や進路についての想いを固めてきたと感じています。受験に向けて、今の自分に足りないところを、最高学年として身に付けなければならないものを明確にしましょう。そして、それらを自分のものにできる有意義な夏休みにし、2学期、更に成長した姿を見せられるように頑張ります。

